

このかレター

2024年1月号（1月9日発行）

〈通巻第四号〉

編集・発行●「難民・移民なかまのいのちの緊急基金」運営チーム

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18 日本キリスト教会館 52 号室
RAIK内 外キ協事務局

電話 (03) 3203-7575 E-mail: nanminkikin@gmail.com

郵便振替 00190-4-119379 口座名称：外キ協

ホームページ <http://www.gaikikyo.jp>

皆さまから送られてきた献金 489 万円を 酷寒の冬を迎えて 難民申請者・仮放免者ら 163 人に支援

昨年（2023 年）8 月、「難民・移民 なかまのいのちの緊急基金」設立から5カ月間、皆様から送られてきた貴い献金の総額が 490 万円を超えました。その基金から、第一期支援として 12 月 6～29 日、支援申請書を出してくれた支援団体を通して、難民申請者・仮放免者ら 163 人に「一人 3 万円」の支援金を渡すことができました。感謝！



略称「難民・移民基金」を設立する時、外キ協およびマイノリティ宣教センターの呼びかけに応じてくれた8人で「運営チーム」を構成しました。その運営チームで確認した「難民・移民基金」の目的は、下記の通りです。

- ①入管難民法の改悪によってさらに窮地に陥っている難民申請者や仮放免者、在留資格のない外国人に対して、基金から支援金を給付する具体的支援によって、金額が少なくとも、現状をわずかも良い方向へと向かわせること。
- ②それは、「あなたのことを決して忘れていない」という市民社会からのメッセージとなること。
- ③「支援者」対「支援を受ける人」という関係を超えて、マイノリティに苦難を強いる国家＝マジョ

リティ社会の問題として考え、変化をもたらすための契機とすること。



当初掲げた、このような目的の①と②を、やっと実現することができました。それでも、じつはこの1カ月間、私たちは悪戦苦闘の日々でした。

というのは、『このかレター』前号（12 月号）で報告したように、「原資ゼロ」から出発した「難民いのちの緊急基金」ですが、昨年 11 月末で献金総額 300 万円となりました。そこで運営チームとしては、第一次として「支援対象者 80 人」という枠を設けて、支援を始めることにしました。そして、私たちがこれまで難民・移民フェスなど、さまざまな場で協働してきた支援団体・個人にお願いして、「今もとても困窮している」対象者に絞って、支援申請書を出してもらうようにしました。

ところが、支援申請締切日の 12 月 9 日には、支援対象者が 160 人を超える申請書が送られてきたのです。それだけ難民申請者・仮放免者らが置かれている状況はあまりにも過酷であるということです。

そのため私たちは、「300 万円 - 490 万円」の不足分 190 万円を集めるために、各教会、友人、

知人にクリスマス献金を必死にお願いしました。結果的に、支援対象者の全員 163 人に対して支援金を年内に渡すことができました。

これは、神様の導きによる奇跡です。

献金を送ってくれた皆様に、そして年末、難民申請者・仮放免者ら一人一人に支援金を渡す作業で奔走してくれた支援団体の方々に対して、感謝するばかりです。

●佐藤信行（基金運営チーム）



ここのか祈祷会



ぜひご参加ください

毎月9日19:30~20:00、難民・移民基金につながるひとたちと共に、祈り・分かち合うひとときをオンライン（Zoom）でもちます。基金報告、発題や証し、参加者同士の分かち合いなど。

どなたでもお気軽にご参加ください。（2023年11月~2024年7月9日まで）

第3回目は、**2月9日(金)19:30~20:00**

〔内容〕基金報告／発題／分かち合い

●Zoom リンクはこちら

ミーティング ID: 815 7644 8847

パスコード: 798850



◆「難民・移民基金」の最新情報は、外キ協ホームページ <https://www.gaikikyo.jp> をご覧ください。

難民申請者・仮放免者たちは今・・・ 支援申請書に見る現実（その2）

◇以下、第一期支援（2023年12月）として「難民いのちの緊急基金」に送られてきた支援申請書の一部を抜粋します。
（なお、支援対象者の名前が特定されないように抜粋・要約をしています）

- 以前に難民申請をしたが不認定のまま、仮放免中。今年3月に大怪我をして、全身麻酔手術でその手術代が153万円請求されたが、未払いの状態。収入がないので、生活費も厳しい。（60代、男性、アジア出身）
- 母親は在留資格「特定活動」で難民申請中。本国では大学で仕事をしていたが、来日後、専門性をいかせず、工場での低賃金労働。小・中・高生の子も3人を抱え、生活に困窮。フードバンクや教会の衣服の提供に頼って生活している。（アフリカ出身の4人家族）
- 難民申請は3回目でも仮放免中。これまでシェルターに入っていたが、そこが閉鎖されることになり、新しい居住先を探さなければならない。食料はフードバンクに頼っており、そこまでの交通費を捻出するにも、教会に頼る状態で、先の生活の見通しが立たない状態。（30代、男性、アフリカ出身）
- 難民申請をしたが不認定のまま、仮放免中。以前は日本人の配偶者がいたが、離婚して在留資格を失った。日本在住が長いので故国には生活基盤がなく、何とか日本で暮らしたいと思っている。昨年、頸椎椎間板ヘルニアと診断されて通院中だが、検査代と薬代を支払うことができない。（50代、男性、アジア出身）
- 1980年代に来日。デザイン会社を設立して順調であったが、コロナ禍以降、クライアントを失い、仕事がなくなり困窮。NGOが家賃の支援や年金取得の支援をしてきたが、現状では限界。本人は社会の役に立ちたい、貢献したいという意志が強く、今のままでは存在する意味がないとまで言う。早まった決断をする前に本人を説得して生活保護を申請したいが、それまでの生活資金が必要。（70代、女性、北米出身）
- 40代の父母と子ども3人とも仮放免で難民申請中。父親は日本に来て難民申請をしたが認められず、入管と関わるようになってから精神的な疾患をもつようになった。今まで失踪事件を3回ほど繰り返す。以前は病院に通い薬をもらって落ち着きがみられたが、今は経済的に通院することも薬をもらうこともできない。母親は持病として糖尿病をもっていて、毎食時に薬などの適切な医療を受ける必要があるが、病院に行けず十分に食事もできていない。また8月ごろから胆のうを発症し、手術が必要であるといわれたが、自宅で我慢するしかない。子どもは来年から小学校一年生だが、学習教材や服などの学用品の購入がどうしても必要。（中東出身の3人家族）
- 彼女は3児の母、家族とも仮放免で難民申請中。食べ盛りの子もたちを育てるには、生活費と食費が必要だが、お金を食費に十分に回すことができない。娘の一人は高校2年生で、学費の一部をNGO「仮放免高校生奨学金プロジェクト」が支援しているが、月に1万円の奨学金では十分ではない。学用品や日本語検定

の教科書や受験料など費用がかさむ。彼女には将来の夢があり、大学のオープンキャンパスに行くなど、具体的な計画をもっている。そんな彼女の学ぶ機会を何とか叶えてやりたい。(中東出身の4人家族)

- 家族4人、仮放免中。父親は心臓病を患い治療が必要だが、すでに1回目の心臓手術で100万円の借金があるため、2度目の手術が受けられない。妻は統合失調症、子どもはアトピーなど病気を抱えているが、通院

することができず、病状は悪化するばかり。NGOが子どもの給食費の支援を継続しているが、生活支援や医療費支援にまで手が回らない。(中東出身の4人家族)

- 父母と子ども3人、以前に難民申請をしたが不認定のまま、仮放免中。家賃も光熱費も自前では払えず、知人からの借金や支援頼み。その上、学校に通う子ども3人の就学費用を工面できず、困窮している。(アフリカ出身の5人家族)

「難民いのちの緊急基金」に献金を送ってくださった教会・個人

(2023年8月6日～12月31日)

外キ協/幼きイエス会(ニコラ・バレ)/横浜桐畑教会/日独ユースミッション 2023/イエス会 社会司牧センター/浦安教会/日本キリスト教協議会女性委員会/日本基督教団九州教区北九州地区ヤスク二人権委員会/日本キリスト教団巣鴨ときわ教会/日本自由メソヂスト教団/日本聖公会東京教区人権委員会/キリスト者平和ネット/日本基督教団四街道教会/新発寒教会/カトリック大分教区カリタス/日本聖公会神田キリスト教会/三次教会/日本キリスト教婦人矯風会新潟/日本カトリック難民移住移動者委員会/宮古聖ヤコブ教会/日本福音ルーテル函館教会/日本キリスト教会北海道中区ヤスクニ・社会問題委員会/蒔田教会/日本基督教改革派名古屋教会/日本キリスト教会夕張伝道所/大宮バプテスト教会/さよなら玄海原発の会・久留米/ヒロシマとメノナイトのともに集い合うセミナー/KMJチャリティー/北海道外キ連/NCC人権委員会参加者/日本聖公会仙台基督教会/日本福音ルーテルむさしの教会チャリティーコンサート/日本バプテスト同盟野並キリスト教会/日本バプテスト連盟大分キリスト教会/日本バプテスト同盟寝屋川キリスト教会/日本福音ルーテル八王子教会/恵の丘長崎原爆ホーム/日本福音ルーテル宇部教会/日本キリスト教団月寒教会/日本福音ルーテル藤が丘教会/日本キリスト教会多摩地域教会/カトリック・カルメル修道会/日本バプテスト目白ヶ丘教会/日本聖公会東京教区聖マルコ教会/日本キリスト教会柏木教会/福岡女学院中学校/日ノ本学園高等学校/カナダ合同教会(UCC)/日本基督教団豊中教会/日本バプテスト大阪教会/日本バプテスト同盟関東学院教会/日本聖公会鹿児島復活教会/日本友会東京月会有志/日本キリスト教団下落合教会/下落合みどり幼稚園/日本福音ルーテル帯広教会/日本バプテスト同盟金沢文庫キリスト教会 CS/日本基督教団旭川豊岡教会/栗田英昭/岡田幸助/佐々木国夫/奈良いずみ/高橋礼子/井田泉/金成元/八木淳司/比企敦子/岸まち子/原科浩/秋葉正二/竹内正幸/今給黎真弓/田村義明/大倉一美/大曲由起子/岡田富美子/松橋敦子/北村恵子/石塚多美子/大内絵美/小谷野聖枝/薄井遥/秋山成子/日笠山吉之/山内英子/渡邊さゆり/吉田雅尚/李省展/濱野敏子/渡辺輝夫/齊木登茂子/藤田美土里/横山陽子/潮江亜紀子/中村登紀子/三好祐輝/日高門/秋山道子/李明生/デイビット マッキントッシュ/河内理恵/洪秀任/金長壽/星山京子/飛田雄一/岡田薫/吉高叶/森山信三/山本二子/古賀清敬/丹野信子/長谷川洋一/松村光司/藤田誠/中村証二/吉田絵理子/真下弥生/松本千恵/高橋愛/張征峰/細井留美/大西晴子/小池善/佐藤信行/川内裕子/斎藤幸義/森小百合/三吉小祈/古田真帆/飯高京子/栗田英昭/元百合子/土井しのぶ/クボコウハイ/石谷恵之/上西創造/長尾有起/フクイキエコ ほか21名(匿名)

献金合計額:5,377,285円 感謝

第一期/2023年8月～12月 難民いのちの緊急基金 収支中間報告

(2023 8/4～12/31)

《収入の部》			《支出の部》		
項目	金額	備考	項目	金額	備考
献金	4,577,285	教会・団体・個人	支援金	4,890,000	@30,000×163人
献金	800,000	カナダ合同教会(UCC)支援金	通信費	34,990	送料、振込手数料ほか
			事務費	58,137	文具、チラシ印刷代ほか
			人件費	128,750	8月～12月
合計	5,377,285		合計	5,111,877	

収支残高:265,408円 第二期、第三期支援をおこなうには、あと500万円が必要……です。

対面集会
＆
オンライン

難民・移民 なかまのいのちの緊急基金 なかまの声を聴き合おう

日本に暮らす難民・移民たち、とりわけ窮地に陥っている仮放免中／難民申請中／在留資格のない外国人は、この日本社会をともに生きる私たちのなかまです。「あなたたちを決して忘れていない」というメッセージとして、また具体的な支援として始まった「難民・移民 なかまのいのちの緊急基金」。第1期（2023年8～12月）は、全国各地から集まった献金をもとに、163名の難民申請者・仮放免者の方たちに、1人3万円の支援金（総額480万円）を届けることができました。

さらにこの活動を続けていくために、なかまの声を聴き合う集会を開催します。対面（東京会場）とオンライン（Zoom）とで全国各地をつなぎ、この基金に思いを寄せる人たち、外国にルーツをもつ難民・移民の人たち、さまざまななかまたちの声を聴き合い、わたしたちにできることは何かを考え、つぎの行動へとつなげる機会にしたいと思います。どなたでも、ぜひご参加ください。

2月18日(日) 16:00-18:00

- 会場** 日本バプテストキリスト教目白ヶ丘教会
住所 東京都新宿区下落合2-15-11（JR山手線「目白駅」より徒歩8分）
申込 対面・オンラインともに、申込フォーム（下記QRコードまたはURL）にてお申し込みください。 <https://forms.gle/zUdLSxGwcNbGVgCu9>

●プログラム ※内容は変更になる可能性があります。

【第1部】基金の活動報告

難民・移民をめぐる状況について

*基金運営チームから第1期（8月～12月）の報告をお伝えします。

【第2部】難民・移民の当事者の声を聴こう

支援者の声を聴こう

*日本に暮らす難民・移民の方たちと、その支援に関わる人たちの思いを語っていただきます。

【第3部】わたしたちの声と思いを分かち合う

一人ひとりにできることを考えよう

*基金に賛同協力・献金を寄せてくださった方たちの思いを語っていただきます。最後に、わたしたちにできる具体的なアクションやアイデアを出し合い、これからの活動につなげます。



地図はこちら



あそびに
きてね♪



【主催・お問い合わせ先】

外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連絡協議会

難民・移民 なかまのいのちの緊急基金運営チーム（メール：nanminkikin@gmail.com）

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18 日本キリスト教会館52号室 R A I K 内

電話：(03) 3203-7575 FAX：(03) 3202-4977 ホームページ：<https://www.gaikikyo.jp>